

	<p>串木野中学校教頭通信</p> <h1>Kyo to correspondence</h1> <p>～当たり前のことを当たり前～</p>	<p>第3号 令和4年 6月24日(金)</p> <p>いちき串木野市立串木野中学校教頭 文責 長岡</p>
---	--	--

「いじめ問題を考える週間」 心について考える！

ここ数年、「いじめ」による痛ましい事件が全国で起こっています。そのような事件が起こるたびに、学校では学活・道徳等でも取り上げられてきました。みなさんもいじめについてはいろいろと考えることがあると思います。この問題はとても大切な問題です。**串木野中学校では4月6日(水)～15日(金)を「いじめ問題を考える週間」と設定して取り組みました。**この期間をよい機会に、自分のことや周囲の人のことを、もう一度考えてみてください。

◎ 「いじめ」ってどういうこと？

- ① 自分より弱い者に対して一方的に、
- ② 身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、
- ③ 相手が深刻な苦痛を感じているもの。

個々の行為が「いじめ」に当たるかどうかは、いじめられた生徒の立場に立って判断します。つまり、やった側はその自覚があってもなくても関係ありません。つまり、やられた方がそう感じれば「いじめ」なのです。また、「いじめ」というと恐喝やリンチなどの凶悪で大胆なものを想像しがちですが、仲間はずしや無視、人間性を疑ってしまうような悪ふざけ的な暴言やいたずら等、人の目に届きにくいもの、気づきにくいものまで含まれます。

◎ 「誰にもわかってもらえない…。」

「いじめ」の被害にあっている人は、「腹立たしさ」「怒り」「悔しさ」「寂しさ」などの感情でいっぱいになっています。そういう気持ちでクラスにいと周りとの温度差（自分と他人との雰囲気の高低差）を感じてしまうのです。一人きりの居場所のない寂しさ…。自らの望みでひとりになったわけではありません。想像してみてください。

◎ 「どうすればいいの？」

被害にあっている人へ

黙って我慢することが「いいこと」ではありません。まず、誰かに相談しましょう。友だちでも、先生でも、親でも、誰でも構いません。話すことで、気持ちが楽になります。その後、自分はどうしたいのか、どうすればいいのか、その人と一緒にゆっくり考えましょう。

感情のまま行動し、知らずにいじめに関わってしまっている人へ

皆さん、自分のことを振り返って見て下さい。自分の意ではなくとも、「いじめ」に関わっていることはありませんか？思い当たることがあれば、「誰か」や「何か」に対する思いを、冷静に対処する方法を見つけるために、怒り・不満・不安等を誰かに話してみましよう。

家庭で「できること」

いじめの「被害者」であることを確認したら

子どもの心と体を守りましょう。

- ・いじめの内容について、子どもが話そうとしない時は無理に聞き出さないようにしましょう。
- ・「いじめに負けるな」などといじめに立ち向かわせるのではなく、心の痛みやつらさに寄り添いましょう。
- ・親子のふれあいなどから子どもの心のダメージの回復を図りましょう（睡眠、食事、好きなことなど）。



親としてのメッセージを伝えましょう。

- ・「今、大事なものは、あなたの安全だよ。」「あなたは悪くない。」「私はあなたの味方だよ。」
- ・「外出には付き添うよ。」「携帯電話の番号を変えようか。」などの具体的な行動を示しながら親としての守る態度を示しましょう。
- ・家庭内では、できるだけ子どもと過ごす時間をたくさん持ちましょう。



いじめが分かった後に学校へ 相談する時は・・・。

- ・解決するためには、子どもに対して学校に相談する必要があることを十分説明しましょう。
- ・相談相手や相談方法は、子どもとよく話し合いましょ。

<家庭で分かる いじめの発見ポイント20>

- ① 衣類の汚れや破れが見られたり、よくケガをしたりしている。
- ② 風呂に入りがらなくなる。裸になるのを嫌がる。(殴られた傷跡などを見られるのが嫌なため)
- ③ 学用品や所持品などが紛失したり、壊されたりしている。
- ④ 教科書やノートに嫌がらせの落書きをされたり、破られたりしている。
- ⑤ 食欲がなくなったり、体重が減少したりしている。
- ⑥ 寝付きが悪かったり、夜眠れなかったりする。
- ⑦ 表情が暗くなり、言葉数が少なくなる。
- ⑧ イライラしたり、オドオドしたりして落ち着きがなくなる。
- ⑨ 部屋に閉じこもることが多く、ため息をついたり涙を流したりする。
- ⑩ 言葉遣いが荒くなり、家族に反抗したり、八つ当たりしたりする。
- ⑪ 保護者から視線をそらしたり、家族に話しかけられることを嫌がったりする。
- ⑫ ナイフ(刃物)などの凶器(危険物)を隠し持つことがある。
- ⑬ 登校時刻になると頭痛・腹痛・吐き気などの身体の不調を訴え、登校を渋る。
- ⑭ 転校を口にしたり、学校をやめたいなどと言い出したりする。
- ⑮ 家庭から品物やお金を持ち出したり、余分な金品を要求したりする。
- ⑯ 親しい友人が来なくなり、見かけない者がよく訪ねてくる。
- ⑰ 不審な電話や嫌がらせメール(手紙)などが来る。友人からの電話で急な外出が増える。
- ⑱ 「どうせ自分はダメだ」などの自己否定的な言動が見られ、死や非現実的なことに関心を持つ。
- ⑲ 投げやりで集中力がわかない。ささいなことでも決断できない。
- ⑳ テレビゲームなどに熱中し、現実から逃避しようとする。